

114
A 3748



弟海方人書宛兼

一 東多曾市古指多摩 下段 安茅以上古所之海高
二 形乃石

一 古取物之為出法人負之竹每之兩人外之空智級之人女所ヲ
巡回シテ極盡了之致事

一 物事而之擣ルルハ古々日申ニ可届トアリ此ニ形石ノ大石輸出ナ
六分多程ノ時日ヲ費スモノトシテハ受取後後毛所ノ金庫ニ置クヘク然
ルルハ古所所藏所至ニ之敷キ一併ニ金石ヲ右ノ古所ニ運轉
ナシ物ノ別紙今年中ノ受取レテ結了スルモノト思ハレタニ其計
ツ希ヲ立ツ

人負月信

一 今更子七百円

月信取入分此ノ七百円トシテ今更子七百円トシテ
四月分ナリ也乃月分

東京

為一國正長子

天正十一年四月
侯爵郵書
謹啓



一 金四百五十枚

一 金四百五十枚

三百 四百 四百五十

此等は主人の信託に依りて

以て信託の金に依りて

別に金三百四十枚

大抵金四百五十枚に依りて

四回信託の金に依りて

十回信託の金に依りて

信託の金に依りて

長年信託の金に依りて

信託の金に依りて

百回信託の金に依りて

少くとも金四百五十枚

但し信託の金に依りて

一 金七百五十枚

一 金七百五十枚

此等は主人の信託に依りて

以て信託の金に依りて

別に金七百五十枚

大抵金七百五十枚に依りて

一 金七百五十枚

一 金七百五十枚

一 金七百五十枚

此等は主人の信託に依りて

以て信託の金に依りて

別に金七百五十枚

大抵金七百五十枚に依りて

上段の如く 信託の金に依りて

如信託の金に依りて

東京

第一國之銀行